

# 日本卓球リーグでプレーする 中国選手の減少とその背景

スポーツビジネス研究領域  
5014A043-4 練舒怡

研究指導教員: 武藤 泰明 教授

## 1. 緒言

日本卓球リーグにおける中国籍選手は2種類がいた。

一種類は日本の高校にスポーツ留学し、日本で大学を卒業し、チームに参加していた。これらの選手はほぼ中国にいた時期、省市チームに入った経験がない。日本の育成システムに従って成長してきた。本文はこれらの選手を中国人選手と呼ぶ (Chinese player)。もう一種類は中国から、直接に日本リーグでプレーする。この種類の選手を中国選手と呼ぶ (China player)。

1987年高志亮、謝春英、陳莉莉は中国選手として日本リーグで初登場した。これ以降、日本リーグでプレーした中国選手は約60人だった。そのうち、26人が中国国家代表の選手だった。他は各省市代表チームの選手だった。つまり、日本リーグでプレーした中国選手は高レベル選手であることがわかった。90年代に現役や代表チーム引退直後に日本リーグにきた選手の人数と比べ、近年、日本リーグでプレーした中国選手は減少し、また、中国リーグ、日本実業団リーグを掛け持ちでプレーしていた。掛け持ちでプレーする選手は試合がある時日本に来て、なければ、中国に戻るという形でプレーする。2015年にいた中国選手3人ともこうしていた(第1章第3節第3項2を参照)。

## 2. 研究目的

本研究には①中国選手が海外リーグでプレーするまでのプロセス②近年日本リーグでプレーする中国選手が減少した背景を明らかにすることを目的とする。

## 3. 先行研究

Maguire(1999)、Magee、Sugden(2002)は、選手が移籍する理由によって、選手をスポーツを普及するための開拓移籍選手、移籍先に定住するための移民移籍選手、金など利益を獲得するための金銭移籍選手、異文化体験するための流浪の国際移籍選手、母国に帰るための帰還移籍選手、自分のスポーツ才能果たす、より高いレベルを追求するための欲望移籍選手と宗教や政治など原因で他国にスポーツする避難移籍選手を分類した。

田(2011)は中国からプロバスケットボール選手として日本のbjリーグ、JBLに移籍しない原因を6つ挙げた。第1、中国バスケットボール協会は選手の移籍を阻害している政策がある。第2、交流が少ないので、中国選手はbjリーグ、JBLに対して認知度が低い状況である。第3、bjリーグ自体がアメリカの出身の選手を注目し、制限した。第4、JBLでは、日本人選手への出場機会を確保する。第5、言葉、通訳の問題。第6、国際的市場で活躍する中国のエージェントの人数が少ない。

## 4. 研究方法

公式ホームページから中国選手の名前、所属等情報をまとめ、その選手に関してインターネットのウェブサイト、新聞記事、卓球専門誌『卓球王国』から、選手の情報を収集する。さらに、90年代日本リーグでプレーしたY選手、W選手、卓球協会理事である大学教授K先生と中国卓球記者X4人にインタビューした。また、Hチームのスポーツ宣伝担当のOさんと2015年日本リーグにプレーした中国選手のひとりJさんと直接に会えなかったが、メールを通じて補充情報を得た。これらの資料を使い、

問題を明らかにする。

## 5. 結果及び考察

### ①海外リーグでプレーするまでのプロセス

図1のとおりに、4つのパターンがある。これらのパターンから、「他国リーグチーム」「選手」「代表チーム」「他国卓球協会」「中国卓球協会」は中国卓球選手が海外リーグでプレーすることに影響を与えていることが明らかになった。

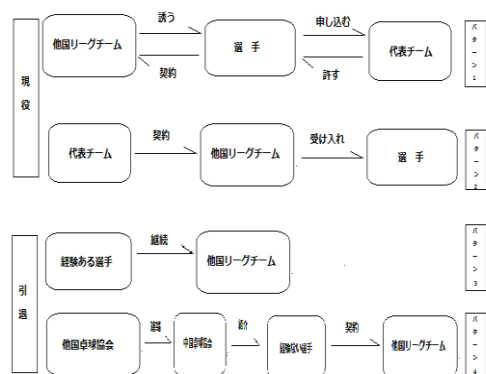


図1 中国卓球選手が海外リーグでプレーするプログラム

### ②減少の背景

選手：中国卓球リーグの設立とスポーツビジネスの活発によって、収入が激増した。金のため、日本リーグに来る必要がない。また、世界大会の数が増やすとともに、選手が世界を見たい欲望を満足したから、日本に来るモチベーションがなくなった。

日本卓球実業団チーム：企業経営状況により休部や廃部が相次ぎ、チーム数が減少した。中国選手は企業が求める選手像と適わない。日本トップクラス選手のヨーロッパ移住により、各チームの実力は同じぐらいになった。日中リーグの開催時間が重なった。この四つの原因で中国選手を採用しないと考えられる。また、元中国選手を保有していたチームが新中国選手の不採用をもたらす採用循環がなくなった。

中国卓球協会及び代表チーム：中国卓球協会中国卓球協会は選手が海外でプレーすることを支持する。しかし、選手が海外

でプレーする激励政策はない。その一方、海外の選手とクラブを中国卓球リーグに参入させる対策を作った。こうすれば、中国リーグに参加すれば、中国選手と試合も練習もできる、中国の練習方法などを学べる。そこで、中国選手を日本に呼んでくる必要がなくなっただろう。

日本卓球協会：1995年日本卓球リーグ実業団連盟は日本卓球リーグ委員会から昇格し、独立した。同年中国からの公派選手がいなくなった。つまり、選手が日本リーグに来るパターンの一つがなくなった。しかしながら、日本卓球リーグ実業団連盟の昇格独立と公派選手の停止の関係の有無については得た資料のみでは判断できない。

## 6. 結論

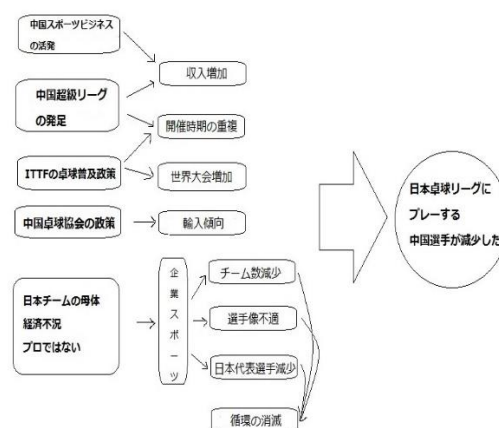


図2 日本リーグでプレーする中国選手が減少した背景

図2のとおりに、近年、日本卓球リーグでプレーする中国選手が減少した背景において、主に以下6つのことである。

①2000年中国卓球超級リーグの発足である。

②中国スポーツビジネスが活発している。中国卓球協会は選手の商業価値を開発している。

③ITTFワールドツアーが開催された。

④中国卓球協会の対外政策は変わった。

⑤経済不況で、チームの母体である企業は余計な経費が使わなくなった。